第　５　７　回

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

自衛消防隊消防競技大会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

大会実施要領

各競技別実施要領

主催　広島市消防局
広島市防火連絡協議会
広島市危険物安全協会

※※※

目　次

※※※

1　第５７回自衛消防隊消防競技大会実施要領　・・・・・・・・・・・・・・・　P1～P2

2　各競技別競技内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P3～P8

3　別紙１　会場案内図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P9

4　別紙２　駐車（駐輪）場案内図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P10

5　別紙３　シャトルバス時刻表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P11

6　別紙４　会場レイアウト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P12～14

7　別紙５　自衛消防訓練通報書（様式）　・・・・・・・・・・・・・・・・　P15

8　（参考）自衛消防訓練通報書【記載例】　・・・・・・・・・・・・・・・　P16

9　各消防署お問い合わせ先　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　裏面

第５７回自衛消防隊消防競技大会実施要領

１　目的

火災からの人命及び財産の保護並びに火災等による被害の軽減を図るため、消火器や屋内消火栓などを使用した実践的な訓練を通じて、職場における自衛消防隊員の自衛消防技術の向上と防火意識の高揚を図ることを目的としています。

２　開催日時（予備日はありません。）

令和７年１０月２０日（月）　１０時３０分から１４時３０分まで

※　雨天等により大会を中止する場合は、その旨を申込時に登録されたメールアドレスあてに送付するとともに、広島市公式ホームページ上に掲載します（「第５７回自衛消防隊消防競技大会について」と検索もしくは、「https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/shobo/297290.html」を御確認ください。）。

３　開催場所

西風新都訓練場（広島市佐伯区石内南五丁目１番１号）

※　別紙１「会場案内図」を御確認ください。

４　主催

広島市消防局、広島市防火連絡協議会、広島市危険物安全協会

５　競技種目

⑴　動力消防ポンプの部
⑵　屋内消火栓男子の部
⑶　屋内消火栓女子の部
⑷　消火器男子の部
⑸　消火器男女の部

６　大会スケジュール

２部制（入れ替え制）により実施

時　間	実施内容	備　考
10:00 ～ 10:30	受付（消火器の部）	
10:30 ～ 12:00	競技 （消火器の部）	開会宣言により開始 終了後、結果の公表
12:00 ～ 12:30	参加事業所の入れ替え	競技コースの撤収・設営
12:30 ～ 13:00	受付（動力消防ポンプ及び屋内消火栓の部）	
13:00 ～ 14:30	競技 （動力消防ポンプ及び屋内消火栓の部）	開会宣言により開始 終了後、結果の公表

７　大会当日の留意事項

⑴　駐車場

別紙２「駐車場案内図」を御確認ください。

※　駐車場から会場まで（会場から駐車場まで）はシャトルバスを運行しておりますので詳細は別紙３「シャトルバス運行時刻」を御確認ください。

なお、シャトルバスは混み合う可能性がありますので選手を会場で降車させた後、駐車場に駐車する等の対応に御協力ください（会場での資機材等の積み下ろしも可能です。）。

⑵　受付

消火器の部にあっては１０時３０分、動力消防ポンプ及び屋内消火栓の部にあっては１３時００分までに受付を済ませ、別紙４「会場レイアウト」の「控席」付近で待機してください。

※　例年、受付終了時間が近づくと受付が込み合いますので、早めの集合をお願いします。

※　出場順位１番から５番までの事業所は早めに受付を済ませ、十分な準備運動をお願いします。

⑶　出場準備

大会の進行を円滑にするため、出番の５番前には別紙４「会場レイアウト」の「待機場所」付近で待機してください。各種目の進行状況に応じて、自主的に集合してください。

⑷　服装

安全かつ動きやすい服装としてください。必ず手袋を着用し、靴は運動靴等（はだし及び金属製スパイクは厳禁）とします。

なお、地面がアスファルトとなりますので必要に応じてヘルメット・プロテクター等を着用してください（動力消防ポンプの部に出場される方のヘルメット着用は必須とします。）。

⑸　その他

ア　出場チームとの連絡は、すべて監督（チームの責任者）を通じて行いますので、大会が円滑に進行できるよう御協力をお願いします。

イ　ゼッケンは、競技終了後、受付に返却してください。

８　各競技別実施要領

⑴　各種目の競技内容は、３～８ページのとおりです。

⑵　同一競技種目で同タイムの場合の順位の決定は、各出場チームの選手代表者のジャンケンにより行い、勝者チームを上位とします。

⑶　反則のあったチームは、入賞等の対象外となります。

⑷　競技成績上位事業所及び認定事業所については、下表のとおり賞状等を贈呈します。

区　分	入賞			認定事業所	
	優勝	準優勝	第３位		
	優勝旗・賞状	トロフィー・賞状	賞状	認定証	基準タイム
動力消防ポンプの部	1	1	1	基準タイム達成事業所	動力消防ポンプ ４０秒
屋内消火栓男子の部	1	1	1		
屋内消火栓女子の部	1	1	1		屋内消火栓 ２５秒
消火器男子の部	1	1	1		
消火器男女の部	1	1	1		消火器 １４秒
合計	5	5	5		

※　賞状は後日、郵送等により贈呈します。

９　消防法に定める消防訓練について

本競技大会及び事前訓練へ参加される事業所等については、消防法に定める消防訓練を実施したものとして取り扱うこととしています。（事前訓練に複数回参加し、大会当日に競技を実施した場合においても、消火訓練等として取り扱うのは、１回のみとなります。）

※　不特定多数の方が利用する防火対象物（劇場、百貨店、飲食店、旅館等）で、本取扱いの適用を希望する場合、別紙５「自衛消防訓練通報書」により、各事業所等を管轄する消防署に事前通報を行ってください。

広島市ホームページからもダウンロードできますので、以下を参照してください。

広島市ホームページ

https://www.city.hiroshima.lg.jp/

消防関係申請届出用紙

動 力 消 防 ポ ン プ の 部

競　　技　　内　　容

1　出場するチームは、進行係の指示に従い、ポンプ、ホース及び筒先を指定位置に配置し、事前準備をした後、全員発進線に整列する。

2　操作開始

⑴　発進は警笛の合図（二声は中止の合図）による。

⑵　発進合図があるまでは、隊員の並び方を変更しない。

3　操作分担

⑴　隊長は、吸管投入、可搬式消防ポンプの操作及び枕木設置とする。

⑵　１番員は、ホース延長及び筒先操作とする。

⑶　２番員は、ホース延長及び筒先操作の補助とする。

4　操作要領

⑴　隊長は、吸管を投入し、真空ポンプ（吸水）レバーを操作する（結合は事前に準備しておく。）。

⑵　枕木は水そうに吸管が接する位置へ放水開始までに取り付ける。

⑶　ホース延長方法は自由とする。

⑷　１番員は放水線に至り、放水体制をとった後「放水始め（呼称と同時に右（左）手を真上にあげる）」と合図する。

⑸　隊長は１番員の「放水はじめ」の合図後、右（左）手を真上に上げ呼称を復唱しバルブを開く。

⑹　火点的に向かって放水し、的を二つ倒した後、審査員の「放水やめ」の合図（警笛二声）により１番員は「放水やめ」と呼称する（２つの火点的を倒す順番は問わないものとする。）。

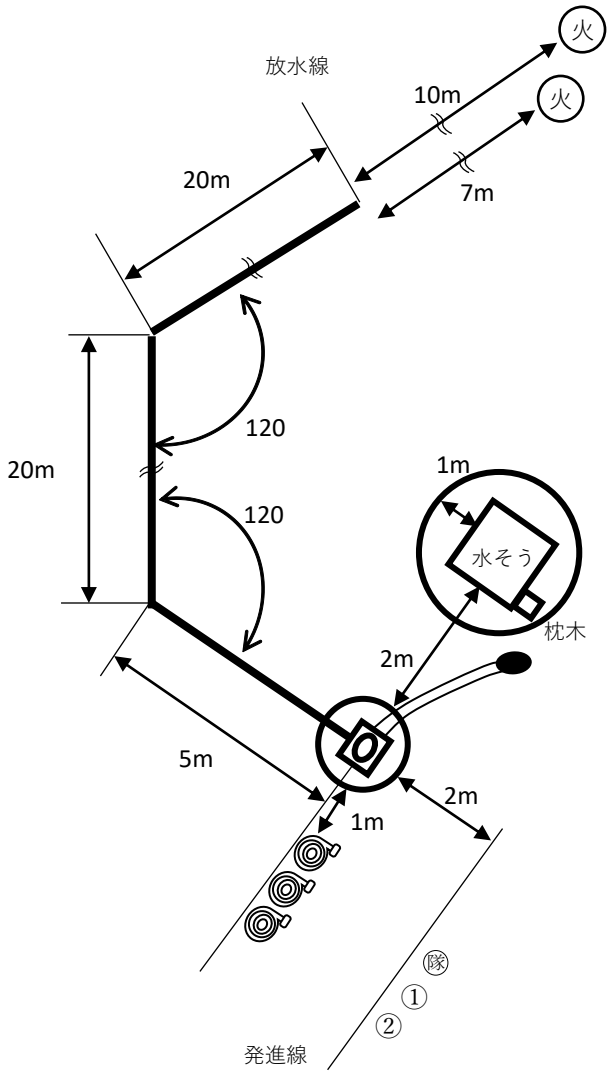
⑺　２番員は、１番員の「放水やめ」の呼称後、隊長に「放水やめ（呼称と同時に右（左）手を水平にあげる）」と合図する。

⑻　隊長は２番員の「放水やめ」の合図後、右（左）手を水平に上げ呼称を復唱しバルブを閉め放水を停止する。

5　撤収・解散

審査員の「おさめ」の合図（警笛三声）により隊長は「おさめ」と号令し、各自（１番員は筒先を持ち）発進線に帰り整列する（ホースは運営要員が撤収する。）。

全員が整列した後に、隊長の指示で解散する。

図　解	審　査　項　目
	順位は消火タイム順とする。 ただし入賞等要件は反則のないチームとする。 反　則　項　目 ① 枕木の取り付けを忘れた。 放水までに間に合わなかった。 ② １m以上ホース金具を引きずった。 ③ ポンプの圧力が０．４ＭＰａを超えた。 ④ 吸管投入前に、真空ポンプ（吸水）レバーを操作した。 ⑤ 放水体勢前に「放水始め」を合図した。 ⑥ 「放水始め」「放水止め」の合図を忘れた。 ⑦ 「放水始め」の合図前にバルブを開いた。 ⑧ 放水線を踏んで（越えて）放水した。 ⑨ ホース結合部が外れて水が出た。 ⑩ その他審査責任者が必要と認めた事項。 消　火　タ　イ　ム 消火タイムは、発進から消火（火点的２つを倒す）までの所要時間とする。

その他留意事項

1　直径１メートルの円内にポンプを置く（方向は自由）ものとする。

2　筒先口径は、１６㎜を使用する。（替口は大会主催者で準備する。）

3　使用ホースは、径６５㎜を３本使用する。（１本の長さ２０ｍとし、通常使用におけるホースの伸縮による誤差は、５０㎝まで認める。）

4　麻ホースを使用する場合は、著しい漏水のないものにかぎる。

5　ポンプ圧力は、０．４ＭＰａ以下とする。（一瞬でも０．４ＭＰａを越えれば反則とする。）

6　吸管投入後、ストレーナー部分の浮上を防ぐため、各チームから補助員が１人つくものとする。

7　枕木は水そう枠に接して置いてある板の上に置くものとし、大会主催者で準備したものを使用する。

8　競技開始前に真空ポンプスイッチは「切」の状態にしておくこと。

9　ポンプをセットした後の試運転は１回（１５秒以内）のみ認める。

10　競技者が用意する資器材は法令適合品を使用することとし、競技目的での改造等（動力消防ポンプの改造、長さ調整のためのホースの切断等）は認めない。

屋　内　消　火　栓　の　部

競　　技　　内　　容

1　出場するチームは、進行係の指示に従い、消火栓ボックスへホース及び筒先を収納し、全員発進線に整列する。（ボックスへの収納は、通常とおり（※　右図を参照）とする。）

2　操作開始

⑴　発進は警笛の合図（二声は中止の合図）による。

⑵　発進合図があるまでは、隊員の並び方を変更しない。

3　操作分担

⑴　隊長は、ホース延長の補助及び消火栓ボックス操作とする。

⑵　１番員は、ホース延長及び筒先操作とする。

4　操作要領

⑴　隊長、１番員は、消火栓ボックスに至り、消火栓ボックス扉の開放、起動ボタンの操作を行い、ベルの鳴動を確認した後、ホース延長する（消火栓ボックスの扉は、静止させること。）。

⑵　１番員は、筒先部を持ち、放水線に至り放水体制をとった後、「放水始め（呼称と同時に右（左）手を真上にあげる）」の合図をする。

⑶　隊長はホース延長の補助後、１番員の「放水はじめ」の合図を受け、右（左）手を真上に上げ呼称を復唱するとともに消火栓ボックスに至り、バルブを開く。

⑷　火点的に向かって放水し、的を二つ倒した後、審査員の「放水やめ」の合図（警笛二声）により１番員は「放水やめ」と呼称する（２つの火点的を倒す順番は問わないものとする。）。

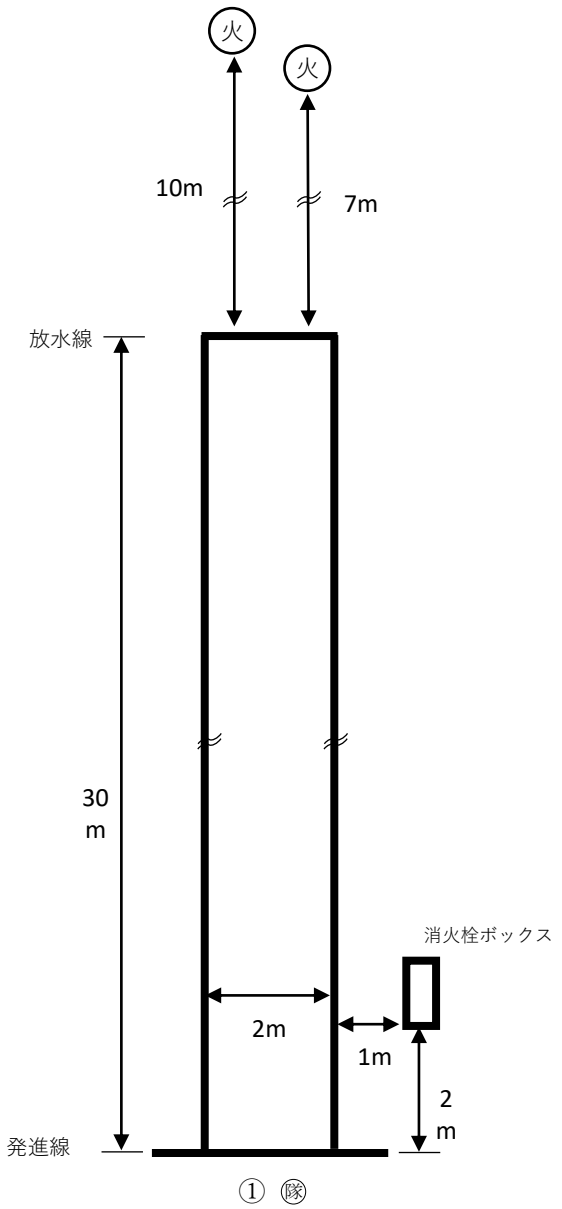
⑸　隊長は１番員の「放水やめ」の合図後、右（左）手を水平に上げ呼称を復唱しバルブを閉め放水を停止する。

5　撤収・解散

審査員の「おさめ」の合図（警笛三声）により、隊長は「おさめ」と号令し、1番員は筒先を持って発進線に戻り整列する（ホースは、運営要員が撤収する。）。

また、隊長も発進線に戻り整列する。

全員が整列した後に、隊長の指示で解散する。

図　解	審　査　項　目
	順位は消火タイム順とする。 ただし入賞等要件は反則のないチームとする。 **反　則　項　目** ①　起動ボタンを押さなかった。又は、起動ボタンを押す前にホースを延長した。 ②　消火栓ボックスの扉を開けた際、扉を静止させなかった。 ③　１m以上ホース金具を引きずった。 ④　放水体勢前に「放水始め」を合図した。 ⑤　「放水始め」の合図前にバルブを開いた。 ⑥　放水線を踏んで（越えて）放水した。 ⑦　「放水始め」「放水止め」の合図を忘れた。 ⑧　ホース結合部が外れて水が出た。 ⑨　コースを外れて走行した。 ⑩　その他審査責任者が必要と認めた事項 **消　火　タ　イ　ム** 消火タイムは、発進から消火（火点的２つを倒す）までの所要時間とする。

その他留意事項

1　使用ホースは、径４０㎜を２本（１本の長さは１５m以上とする。）で、一線延長とする。

2　筒先圧力０．３ＭＰａとなるよう消防ポンプ車から送水する。

3　筒先口径は、１３㎜とする。（大会当日は、大会主催者で用意する。）

4　競技者が用意する資器材は法令適合品を使用することとし、競技目的での改造等は認めない。

消　火　器　の　部

競　技　内　容

1　出場するチームは、進行係の指示に従い、消火器を点検整備（ノズル、安全栓、容器、充填圧力等）し、指定の位置に配置し、全員発進線に整列する。

2　操作開始

⑴　発進は警笛の合図（二声は中止の合図）による。

⑵　発進合図があるまでは、隊員の並び方を変更しない。

3　操作分担

⑴　隊長は、通報及び応援消火（予備消火器の搬送）とする。

⑵　１番員は、出火場所の確認及び初期消火とする。

4　操作要領

⑴　隊長は、１番員が連呼する出火場所を電話で通報後、予備消火器を搬送し、応援消火する。

ア　電話通報要領は、１１９をダイヤルし「○市○区○町○番○号（○郡○町○番○号）○会社の○○が火災（火事）です。」と通報し、審査員の「よし」の合図の後、受話器を置く。

イ　通報後、予備消火器を搬送し、直ちに応援消火する（操作は消火器操作開始線を越えて行う。）。

なお、119番通報後、審査員の「よし」から消火器操作開始線を超えるまでのタイムを計測し、当該タイムを搬送タイムとする。

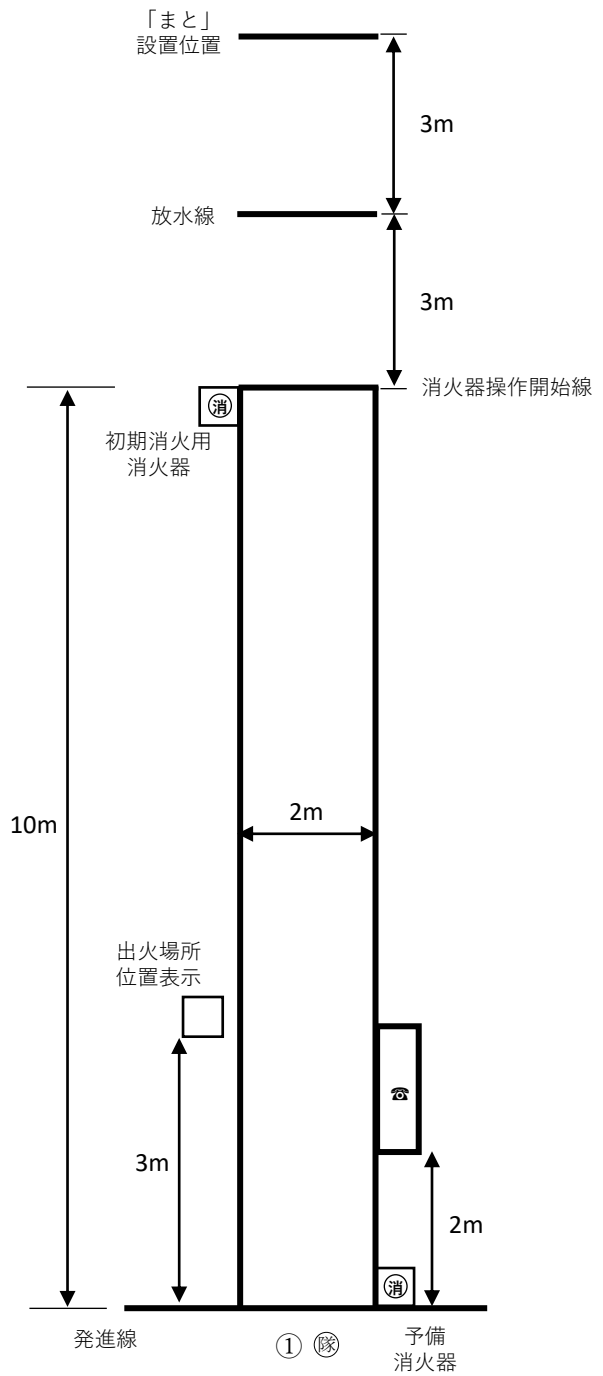
⑵　１番員は、審査員が指示する出火場所の想定（「事務所」、「倉庫」のいずれか）を確認し、出火場所を連呼（「○○が火災(火事)」を２回）した後、コース外に設置された初期消火用消火器を消火器操作開始線を超えて操作し、火点的を倒す。

5　撤収・解散

審査員の「おさめ」の合図（警笛三声）により、隊長は「おさめ」と号令し、各自消火器を持って発進線に戻り整列する。

全員が整列した後に、隊長の指示で解散する。

図　解



審　査　項　目

順位は消火タイムと消火器搬送タイムの合計順とする。

ただし入賞等要件は反則のないチームとする。

反　則　項　目

① 出火場所の通報をまちがえた。

※ ただちに訂正すれば反則としない。

② ダイヤル（１１９）をまちがえた。

※ ただちに訂正すれば反則としない。

③ 通報後、受話器を正しく置かなかった。

④ 連呼を忘れた。まちがえた。

※ ただちに訂正すれば反則としない。

⑤ 搬送中、消火器を落とした。

⑥ 消火器操作開始線を超える（踏む）前に消火器を操作した。

⑦ 放水線を踏んで（超えて）放水した。

⑧ コースを外れて走行した。

⑨ その他審査責任者が必要と認めた事項

消　火　タ　イ　ム

消火タイムは、発進から消火（火点的を倒す）までの所要時間とする。

消　火　器　搬　送　タ　イ　ム

消火器搬送タイムは、119番通報後、審査員の「よし」から消火器を消火器操作開始線を越えるまでの所要時間とする。

その他留意事項

1　初期消火用消火器、予備消火器は、水消火器とする。

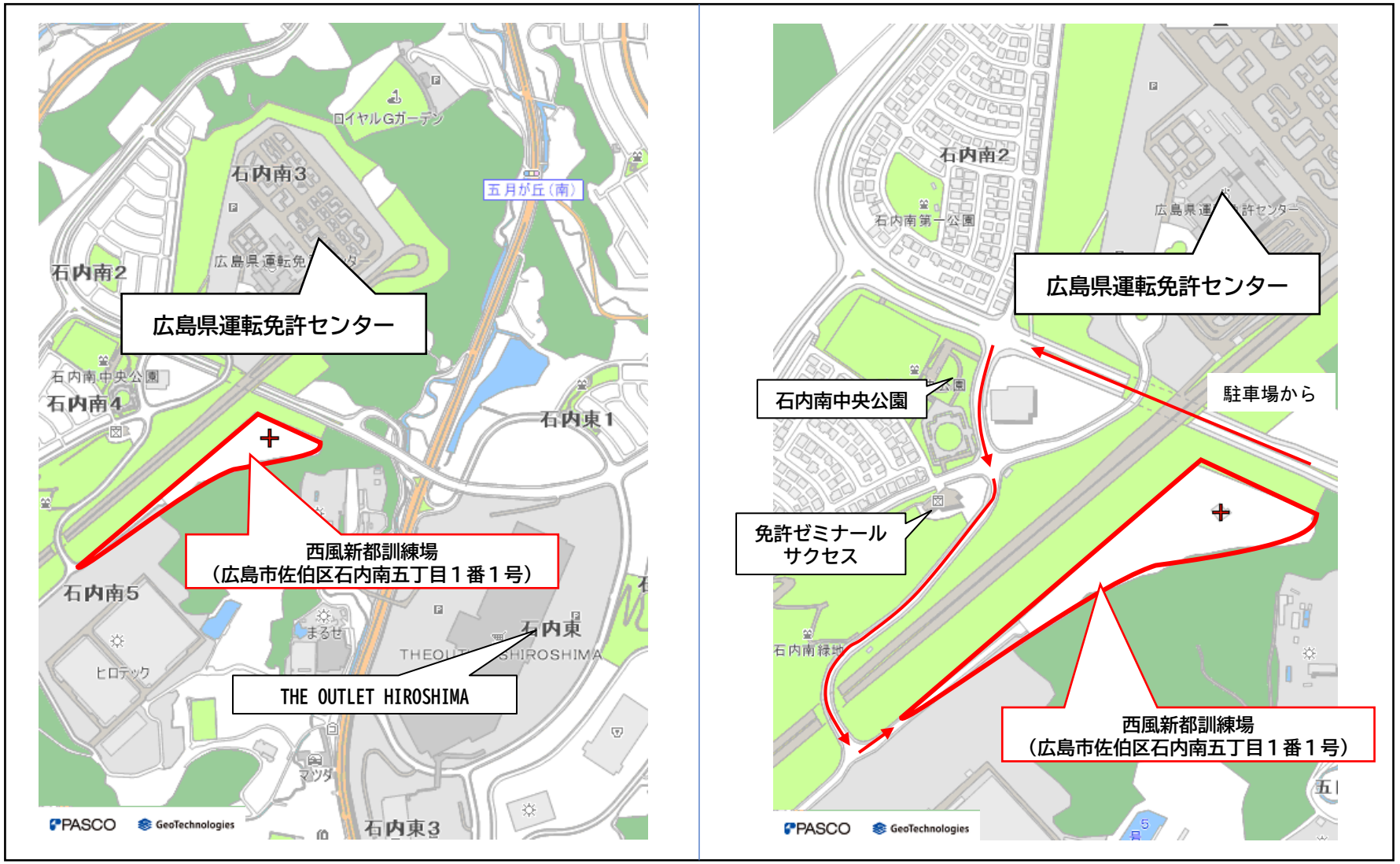
2　初期消火用消火器、予備消火器の充填圧力は０．７５ＭＰａとし、水量は２リットルとする。

3　使用する水消火器は、大会主催者で用意する。

4　隊長が予備消火器で応援消火しても、火点的を倒すことができなかった場合、審査員の指示により、競技を中止する。

別紙１

会場案内図


ロイヤルGガーデン
石内南3
五月が丘（南）
広島県運転免許センター
石内南2
石内南中央公園
石内南4
石内東1
西風新都訓練場
（広島市佐伯区石内南五丁目１番１号）
石内南5
まるせ
ヒロテック
THE OUTLET HIROSHIMA
マツダ
石内東3
PASCO
GeoTechnologies
石内南2
石内南第一公園
広島県運転免許センター
石内南中央公園
駐車場から
免許ゼミナール
サクセス
石内南緑地
西風新都訓練場
（広島市佐伯区石内南五丁目１番１号）
PASCO
GeoTechnologies

別紙２

駐車（駐輪）場案内図

※　事前訓練は会場に駐車可能です。

別紙３

シャトルバス運行時刻

駐車場（発）　⇒　西風新都訓練場（着）

駐車場（発）	西風新都訓練場（着）	備　考
９：３０	９：３５	
９：４０	９：４５	
９：５０	９：５５	
１０：００	１０：１０	
１０：１０	１０：１５	
１０：２０	１０：２５	受付時間内最終到着便 （消火器の部）
１１：００	１１：０５	
１１：３０	１１：３５	
１２：００	１２：０５	
１２：１０	１２：１５	
１２：２０	１２：２５	
１２：３０	１２：３５	
１２：４０	１２：４５	
１２：５０	１２：５５	受付時間内最終到着便 （動力消防ポンプ・屋内消火栓の部）
１３：００	１３：０５	
１３：３０	１３：３５	
１４：００	１４：０５	西風新都訓練場最終到着便

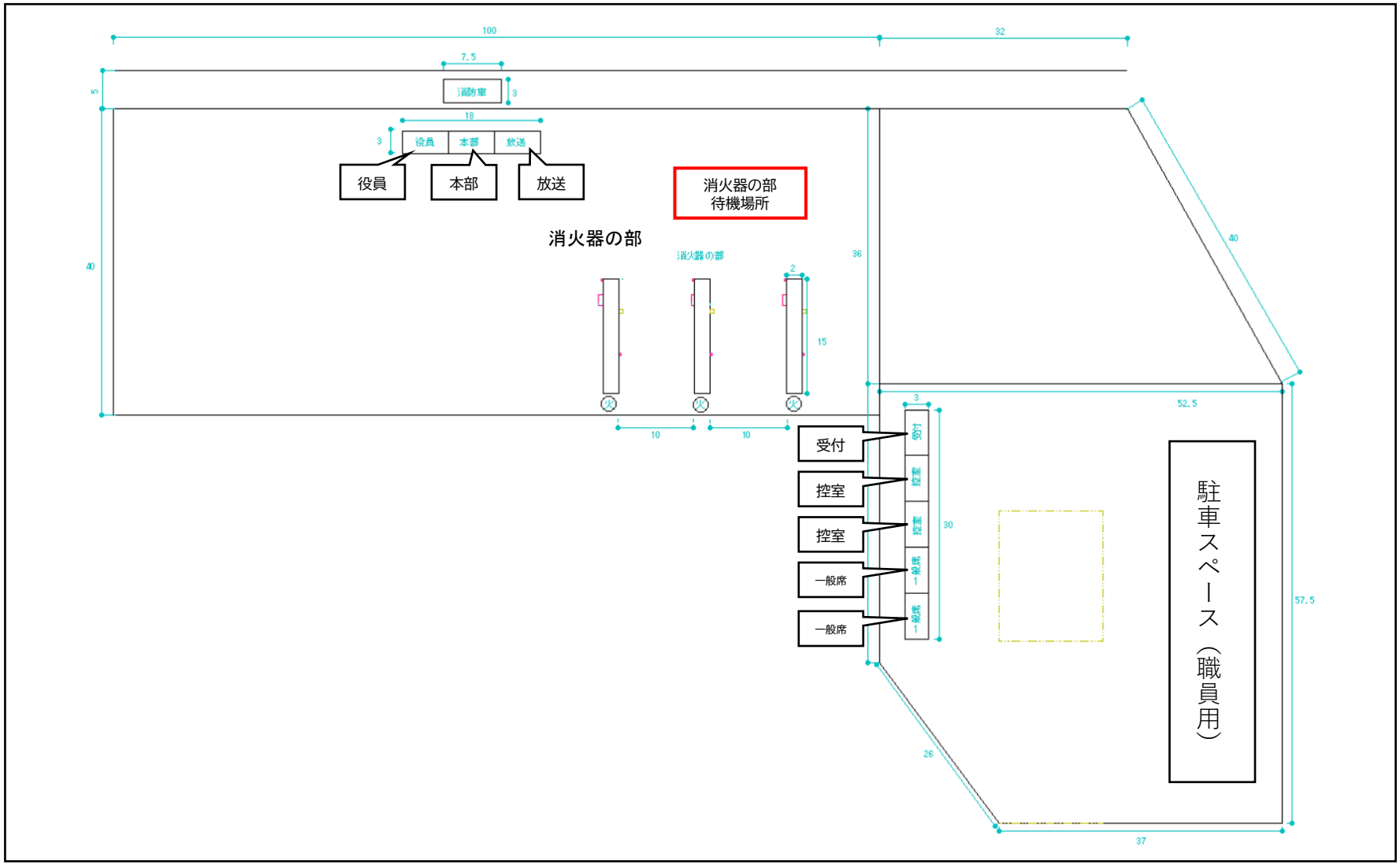
西風新都訓練場（発）　⇒　駐車場（着）

西風新都訓練場（発）	駐車場（着）	備　考
１０：３０	１０：３５	
１１：００	１１：０５	
１１：３０	１１：３５	
１２：００	１２：０５	
１２：１０	１２：１５	
１２：２０	１２：２５	
１２：３０	１２：３５	
１２：４０	１２：４５	
１２：５０	１２：５５	
１３：３０	１３：３５	
１４：００	１４：０５	
１４：３０	１４：３５	
１４：４０	１４：４５	
１４：５０	１４：５５	
１５：００	１５：０５	
１５：１０	１５：１５	
１５：２０	１５：２５	
１５：３０	１５：３５	駐車場最終到着便

別紙４－１

大会当日配置（消火器の部）
１０時００分～１２時００分

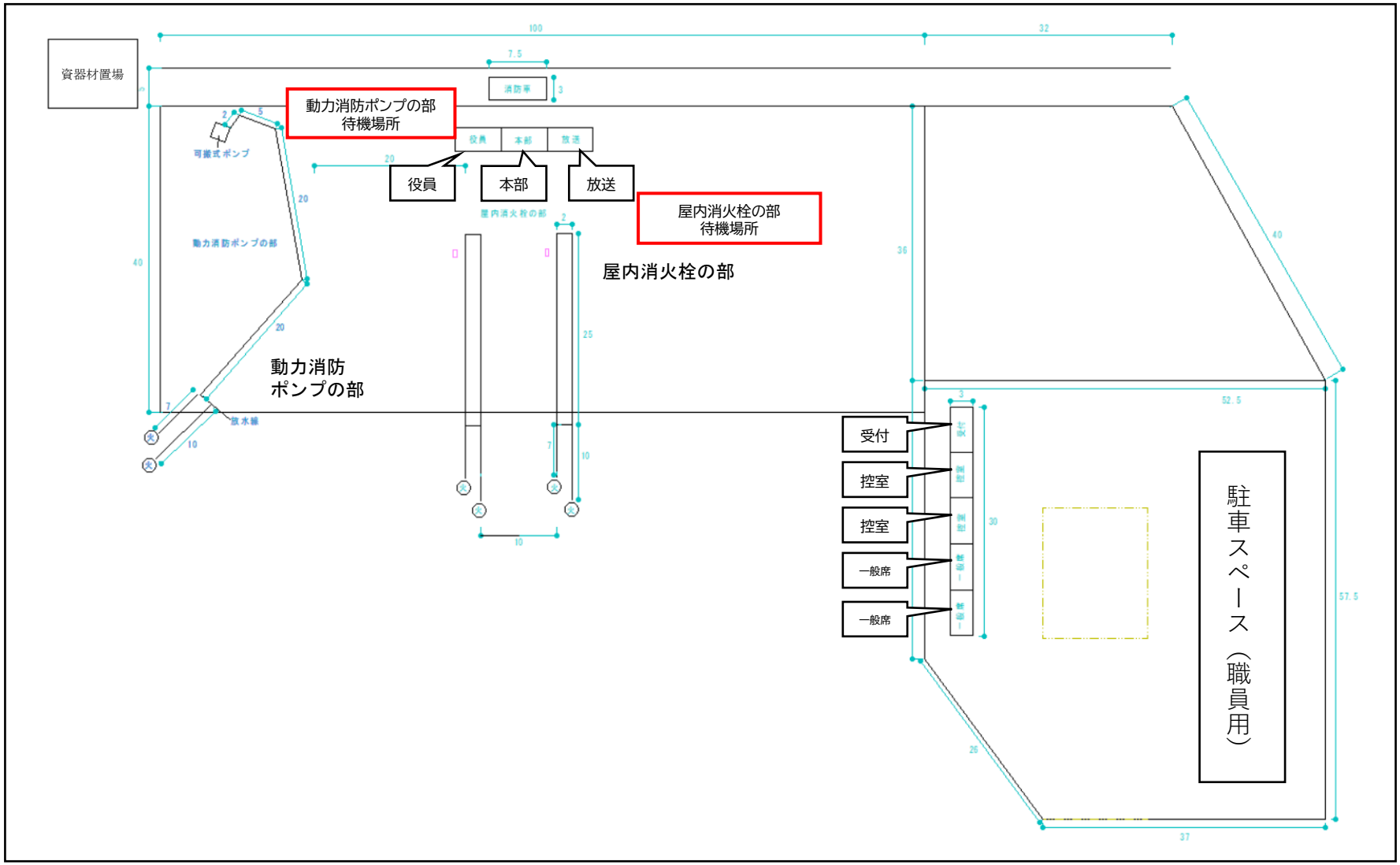
会場レイアウト



別紙４－２

大会当日配置（動力消防ポンプの部及び屋内消火栓の部）
１３時００分～１４時３０分

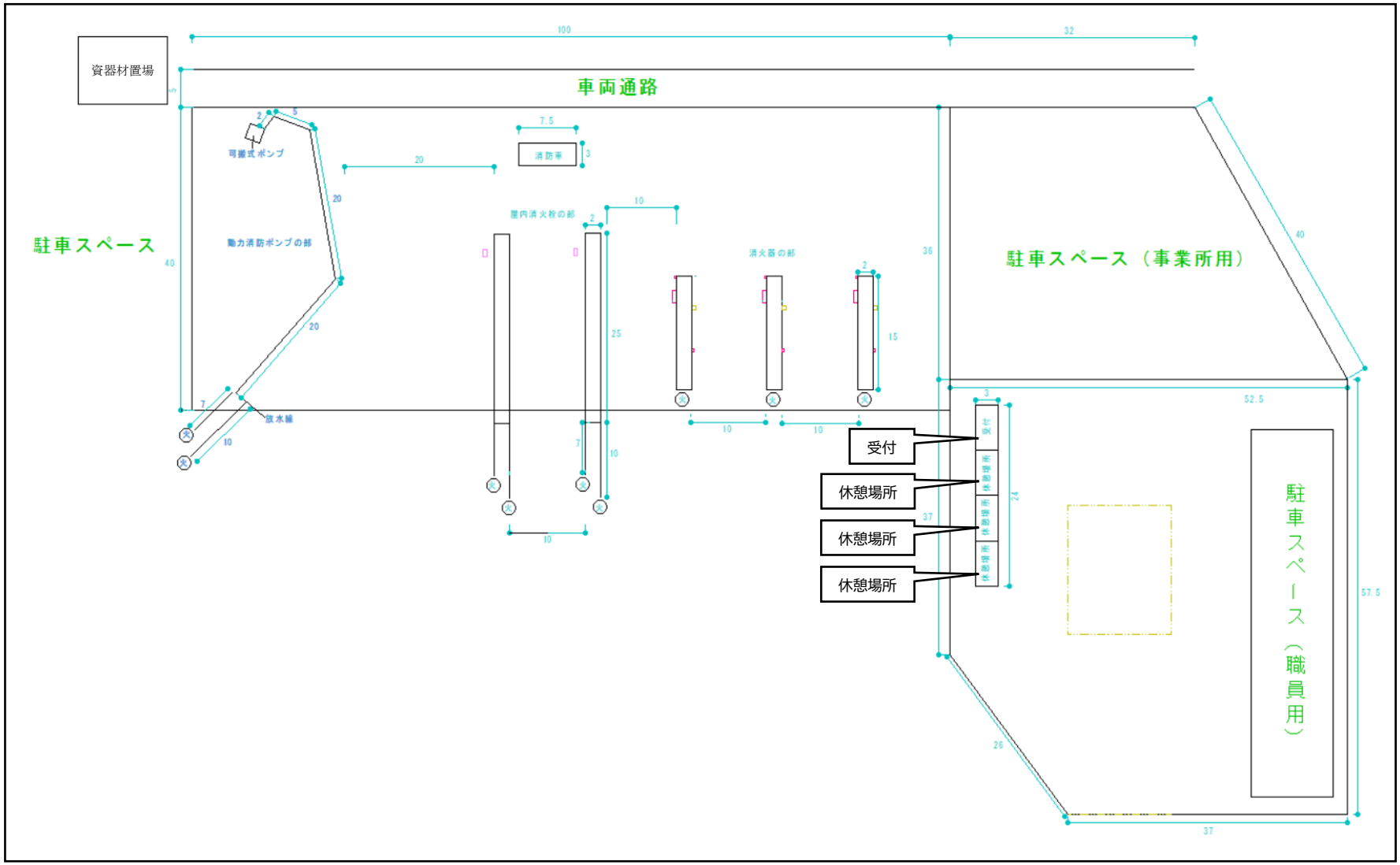
会場レイアウト



別紙４－３

事前訓練配置
１０月１４日（火）～１０月１７日（金）

会場レイアウト



別紙5

広島市 ＿＿ 消防署あて

□防火 □防災

管理者 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

自 衛 消 防 訓 練 通 報 書

防火対象物の所在地		
防火対象物の名称		
実 施 日 時	年 月 日 時 分	
実 施 場 所 等	□ 上記防火対象物 □ その他（ ） ※ その他の場合は研修名等を記載してください。	
訓 練 種 別	□ 防火管理に係る訓練 □ 防災管理に係る訓練 □ 消火訓練 □ 避難訓練 □ 通報訓練（119 番通報及び火災通報装置による通報は行わないでください。） ※ 各訓練の実施方法については本市公式 HP（右記２次元コード）をご確認ください。 ページ名称：自衛消防訓練の疑問を解決します!! ページ番号：1013801	２次元コード
担 当 者	電話（ ） －	

通 報 欄	＊ 受 付 欄（消防署使用欄）
事前通報（通報書提出）日 年 月 日	受付印（受報特記事項）

【留意事項】

○ 本書に必要事項を記入し、所轄消防署あて、1 部提出してください。
なお、誤送信による個人情報漏洩防止の観点から、FAX での返信は行いません。

○ 所轄消防署への事前通報及び訓練の状況を防火管理維持台帳等へ記録してください。

○ 本書を保管することにより記録に代える場合は「通報欄」に「事前通報（通報書提出）日」を記載してください。）。

○ 雨天等で中止又は延期する場合は、所轄消防署へお知らせください。

【問合せ先】

中 消 防 署 （０８２－５４６－３５１１）	安佐南消防署（０８２－８７７－４１０１）
東 消 防 署 （０８２－２６３－８４０２）	安佐北消防署（０８２－８１４－４７９５）
南 消 防 署 （０８２－２６１－５１８１）	安 芸 消 防 署（０８２－８２２－４３４９）
西 消 防 署 （０８２－２３２－０３８１）	佐 伯 消 防 署（０８２－９２１－２２３６）

参考

広島市　中　消防署あて

管轄する区の消防署名を記載してください。
中区に防火対象物がある場合、「中」と記載してください。

■防火　□防災
管理者　消防　太郎

自 衛 消 防 訓 練 通 報 書

防火対象物の所在地	広島市中区●●町□□番▲▲号
防火対象物の名称	株式会社●●●●　etc.
実　施　日　時	令和７年１０月〇〇日（□）　〇〇時△△分～●●時▲▲分
実　施　場　所　等	□ 上記防火対象物　■ その他（自衛消防隊消防競技大会　事前訓練　） ※　その他の場合は研修名等を記載してください。
訓　練　の　内　容	■ 防火管理に係る訓練　□ 防災管理に係る訓練 ■ 消火訓練　■ 避難訓練 ■ 通報訓練（119 番通報及び火災通報装置による通報は行わないでください。） ※　各訓練の実施方法については本市公式 HP（右記２次元コード）をご確認 を解決します!!
担　当　者	消防　太郎　　電話（〇〇〇）■■■■－△△△

実際の訓練参加日を記載してください。

２次元コード

動力消防ポンプの部、屋内消火栓の部へ参加→『消火訓練』のみ
消火器の部へ参加→『消火訓練と通報訓練』にチェックしてください。

通　報　欄	＊　受　付　欄（消防署使用欄）
事前通報（通報書提出）日 令和７年１０月〇〇日	受付印（受報特記事項）

本書の提出日を記載してください。

【留意事項】

〇　本書に必要事項を記入し、所轄消防署あて、１部提出してください。
　　なお、誤送信による個人情報漏洩防止の観点から、FAX での返信は行いません。
〇　所轄消防署への事前通報及び訓練の状況を防火管理維持台帳等へ記録してください。
〇　本書を保管することにより記録に代える場合は「通報欄」に「事前通報（通報書提出）日」を記載してください。）。
〇　雨天等で中止又は延期する場合は、所轄消防署へお知らせください。

【問合せ先】

中 消 防 署 （０８２－５４６－３５１１）	安 佐 南 消 防 署 （０８２－８７７－４１０１）
東 消 防 署 （０８２－２６３－８４０２）	安 佐 北 消 防 署 （０８２－８１４－４７９５）
南 消 防 署 （０８２－２６１－５１８１）	安　芸 消 防 署 （０８２－８２２－４３４９）
西 消 防 署 （０８２－２３２－０３８１）	佐　伯 消 防 署 （０８２－９２１－２２３６）

中　消　防　署・予　防　課	
広島市中区大手町五丁目２０番１２号	TEL(082)546-3511
東　消　防　署・予　防　課	
広島市東区光町二丁目１２番６号	TEL(082)263-8402
南　消　防　署・予　防　課	
広島市南区的場町二丁目５番１４号	TEL(082)261-5181
西　消　防　署・予　防　課	
広島市西区都町４３番１０号	TEL(082)232-0381
安佐南消防署・予防課	
広島市安佐南区緑井一丁目１０番３号	TEL(082)877-4101
安佐北消防署・予防課	
広島市安佐北区可部南四丁目２６番１３号	TEL(082)814-4795
安　芸　消　防　署・予　防　課	
広島市安芸郡海田町堀川町３番１２号	TEL(082)822-4349
佐　伯　消　防　署・予　防　課	
広島市佐伯区五日市中央七丁目２５番１８号	TEL(082)921-2236
広島市消防局予防部予防課	
広島市中区大手町五丁目２０番１２号	TEL(082)546-3476